

来週の『売り物』記事はこれ



2016年5月6日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

シベリア抑留研究の金字塔 「無名戦士」では許されない 8日(日)



第二次世界大戦後、ソ連は約60万人の日本人をシベリアなどに抑留し、約6万人が亡くなったとされます。1991年、ソ連のゴルバチョフ大統領は抑留死した日本人約3万8000人の名簿を携えて来日しました。しかし、名簿は抑留者が日本語で述べた名前を収容所の係官らがロシア語でつづったもので、それをカタカナに音訳して公表された名簿は「ホタノ・テレネダ」など、日本人とは思えない名前が並びました。「名前をゆがめられることは人格をゆがめられること。無名とされるのは存在を否定されること」。元中学教師で抑留被害者でもあった故・村山常雄さん＝写真＝は70歳の誕生日にパソコンを購入し、自らの手で正しい名簿を作ることを決意します。国内外の資料を収集して一人一人の名前を突き合わせ、約10年をかけて漢字に正した「村山名簿」は抑留研究の金字塔といえます。村山さんと偉業を支えた妻カズさんの物語です。



日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待下さい。

時代はラテン風の響き？

大型施設の名称のトレンドを探る

夕刊特集ワイド 9日(月)



大型の商業施設や公共施設が誕生すると、その名称にも関心が集まります。東京・新宿に4月にオープンした巨大バスターミナルは「バスタ新宿」と名付けられました。既にある建物を見渡せば、英語系、ラテン系、日本語系……とさまざまですが、そこには時代を反映したトレンドも浮かび上がってきます。日本人にとって、思わず足を運びたくするようなカッコイイ施設名とは？ 真面目に考察してみました。

スカーフの結び方

くらしナビA面 10日(火)

全国各地で最高気温30度を超える「真夏日」を記録するようになり、ブラウスやTシャツ1枚で過ごすことも増えてきました。首元のポイントになるスカーフは、紫外線よけとしても使えます。エルメスの元販売員で日本スカーフコーディネーター協会の主任講師を務めるナタリー・ベルジュロンさん(51)に、簡単でアレンジがきく結び方を教えてもらいました。



連載「家族2016」

くらしナビA面 11日(水)から



高齢化が進み、介護が大きな社会問題になっています。家族介護が始まると生活は一変し、大切な人との絆が揺らぐことすらあります。人の輪やITによる支援システムが築かれつつある今、どんなサービスが頼りになるのでしょうか。連載第2部では、記者が全国各地の家族介護の現場を訪ね歩き、介護で家族はどう変わるか、現状と課題、対策を探ります。

落語家の桂米團治さんが各界で活躍中の女性と対談する「粋な噺で行きましょう」。今回は、近年熱い注目を集める「春画」の研究者、石上阿希さん(36)を迎えます。国際日本文化研究センター特任助教として「日本文化」の春画を研究する石上さん。話題は春画の歴史から日本人の生き方にまで展開し、桂米朝さん秘蔵の逸品も本邦初公開となります。



第71期本因坊戦第1局目 9日尾道で開幕



第71期本因坊戦が9日、広島県尾道市で開幕します。先ごろ7冠制覇の偉業を達成した井山裕太本因坊に、9期ぶりの復位を目指す高尾紳路九段が挑みます。

井山本因坊にとっては、7冠達成後初めての防衛戦です。本因坊は連続4期、今回防衛すれば永世本因坊の資格を得ます。勢いを保って7冠を維持できるか。一方の高尾九段は2005年に本因坊を獲得し、07年まで3期連続。今期の好調のまま、奪取なるか。熱い戦いに、ご期待ください。

刑事司法改革関連法案成立へ

「調べ室」の録音・録画で冤罪事件はなくなるのか?

オピニオン面 [論点] 11日(火)

今国会で成立する見通しとなった刑事司法改革関連法案。警察や検察による取り調べの録音・録画(可視化)を義務付けるだけでなく、他者の犯罪を明かす見返りに求刑を軽くするなどの「司法取引」が導入されます。元々は、司法の犯罪である冤罪事件の反省を踏まえて始まった改革です。関連法で「無実の罪」の悲劇を防げるのでしょうか。専門家が徹底検証します。



熊本地震1カ月 避難者支援の課題

オピニオン面 [論点] 13日(金)



いまま2万人近くの人たちが避難を強いられる一方で、激しい揺れが続きます。熊本など九州地方を襲った熊本地震。前震が発生してから14日で1カ月を迎えます。慣れない避難生活が長期化するなか、ストレスにさらされる心と体。私たちは東日本大震災など巨大災害に直面するたびに学んだはずですが、何を教訓として今回の災害対応に生かすべきなのかを考えました。

時代が見える——。オピニオン面にご期待ください。

次週は都合により12日(木)の発行になります

